

閲覧用

河内長野市学校のあり方の方針（案）に対するパブリックコメント意見一覧

【概要】

平成31年3月1日（金）～平成31年4月5日（金）まで、市内の主な公共施設及び市ホームページにおいて公表し、河内長野市学校のあり方の方針（案）に対するパブリックコメントの意見募集を実施しましたところ、5人より8件の貴重なご意見をいただきました。

これらのご意見と、ご意見に対する市の考え方は下記のとおりです。

◆分類について

変更	ご意見を受けて計画（構想、指針、条例など）に変更を加えました。	2件
包含	ご意見の趣旨等は計画（構想、指針、条例など）に含まれています。	0件
参考	ご意見の趣旨等は計画（構想、指針、条例など）に含まれていますが、ご提案内容は今後の取り組みの参考等とすべきと考えます。	6件
その他	ご意見につきましては、計画（構想、指針、条例など）に反映しないものとします。	0件

番号	分類	ページ	ご意見（の概要）	市の考え方□
1	参考	5	平成30年1月のあり方検討委員会からの答申では、「学校の小規模化への対応策」(5) その他 ?小規模校におけるICT活用という項目がありましたが、今回の方針（案）に記載がないのはなぜでしょうか？	河内長野市の学校におけるICTの整備率は、府内においても最高レベルにあり、既にタブレットPCを利用した授業も実践しているところであります。また、小規模化への対応策につきましては、方針（案）に記載しました対応策がより実効的であるとの判断により、今回の方針（案）に記載をしておりません。 しかしながら、小規模化におけるICT活用を否定するものではなく、今後の有効な対応策のひとつとして認識しております。

2	変更	全体	<p>標記に関して 「児童生徒」と「児童・生徒」が混在していますので、統一されてはいかがでしょうか？</p>	<p>ご指摘のとおり混在しておりましたので、「児童生徒」に文言を統一いたしました。</p>
3	変更	<p><はじめに></p>	<p><はじめに>22行目・・・教育水準を維持向上するための・・・ 維持向上は自動詞ですので、・・・教育水準の維持向上を図るための・・・とした方がいいのでは？</p>	<p>ご指摘のとおり、・・・教育水準の維持向上を図るための・・・に変更いたしました。</p>
4	参考		<p>学校施設を公民館等と共用するとか、統廃合を考えるなどの問題は、財政や警備や社会教育や街作りなど市政全体から考えなければいけない。 しかし、郷土学習とか英語教育の問題については、専門的な問題であるから教育学者や現場教員の専門的知見をまず十分に反映させてほしい。その時々々の流行や素人談義に振りまわされてはならない。 パブリックコメントのやり方も、分けて行うべきである。</p>	<p>今回の河内長野市学校のあり方の方針（案）に関しましては、今後の市全体の公共施設のあり方を示す、河内長野市公共施設再配置計画（案）とも関連をさせながら策定しているものであります。 当市学校教育においては、子どもたちが自分たちが住む「ふるさと河内長野」を誇り、大切にすることを育成し、さらにこれを基盤として世界へも目を向ける人材を育成することを基本方針のひとつとしております。 これにより、現場教職員が作成したオリジナルの副読本を活用した「ふるさと学」を実施するとともに、英語教育におきましても先駆けて平成12年度から外国人英語教師を配置し実践するとともに、中学校英語担当教職員が小学校へ赴き授業を実施したり、小中英語担当教職員により指導力向上のために研修を開催するなど、英語教育に携わる者の意見や培ってきた知識等を教育に反映させて、グローバルな人材の育</p>

				<p>成に取り組んでおります。</p> <p>いずれにしましても、貴重なご意見として今後の参考といたします。</p>
5	参考	4	<p>小中一貫校について、私の考え方</p> <p>小学校は6年間、中学校は3年間と別個のものであってよいと思います。小学校は高学年（6、5年）が低学年（1、2、3年）を小さなことでも指導できる様、又、低学年の子は高学年の子たちをみて学ぶことが大切だと思います。</p> <p>中学生というのは又別の成長期にある3年間だと思いますので、一貫校になることはあまり意味がないと思います。今迄6年、3年という制度をかえる必要はないと思います。</p>	<p>ご意見いただきましたとおり、これまでの6年制3年制の義務教育制度には様々なメリットがあり、成果を上げてまいりました。</p> <p>しかしながら、現在河内長野市では少子化が進んでおり、これ以上の少子化が進み、さらに学校が小規模校化した場合の教育効果の低下も懸念されることから、小規模校のメリットを最大限に引き出す取り組みを強化するのか、または他の方策の検討を進めるのかを、総合的に判断する必要があると考えております。</p> <p>今後は、中学校区単位で、小規模校として存続させること、新たな制度として義務教育学校を設立すること等の、その校区の子どもたちの教育にとってより効果の高い学校のあり方について検討してまいりたいと考えております。</p> <p>いずれにしましても、貴重なご意見として今後の参考といたします。</p>
6	参考	4	<p>小中一貫教育については反対です。</p> <p>小学6年生では最高学年である自覚を持たせることができます。私の場合、6年主任をさせていただいた時にそのことを話しました。6年生が1年生の教室のそうじに行ったときに、ホー木の使い方を教えています。</p> <p>「中一ギャップ」が一貫教育の根拠にしていますが、それは名目であって予算の削減するためです。</p> <p>新中学1年生は、中学校授業の「早さ」にすぐなれてまいります。</p> <p>小学6年生は「人格の節」を作る機会です。それをなく</p>	<p>ご意見いただきましたとおり、これまでの6年制3年制の義務教育制度には様々なメリットがあり、成果を上げてまいりました。</p> <p>しかしながら、現在河内長野市では少子化が進んでおり、これ以上の少子化が進み、さらに学校が小規模校化した場合の教育効果の低下も懸念されることから、小規模校のメリットを最大限に引き出す取り組みを強化するのか、または他の方策の検討を進めるのかを、総合的に判断する必要があると考えております。</p> <p>今後は、中学校区単位で、小規模校として存続させること、新たな制度として義務教育学校を設立すること等の、その校区の子どもたちの教育にとってより効果の高い学校のあり方について検討してまいりたいと考えております。</p> <p>いずれにしましても、貴重なご意見として今後の参考といたします。</p>

			すことは反対です。	
7	参考	3	<p>小規模校のメリットは有ります。全教職員が一人々々の子どもを知っていることです。少人数では、教師は子どもをつまづきがどこにあるかを知ることができ、授業をするときの重要な資料になります。</p> <p>●それは一人々々を大切にする教育です。</p>	<p>ご意見いただきましたとおり、小規模校では教職員は児童生徒一人ひとりに目を届けやすく、きめ細かな指導が行いやすいなどのメリットが複数あります。</p> <p>しかしながら、小規模校では人間関係の固定化や、切磋琢磨する機会が少なくなるなどのデメリットも複数あることから、その学校の実情や地域の実情のバランスを勘案しつつ、あり方を検討してまいりたいと考えております。</p> <p>いずれにしましても、貴重なご意見として今後の参考といたします。</p>
8	参考	7	<p>南花台中学校区での小中学校の施設を一体化する事は、現状を考えると適切な考え方と云えると思います。</p> <p>又、義務教育学校として運営する事も良いと思います。</p> <p>しかしながらただし書きがつく事は、市の総合計画及び立地適正化計画の中で南花台が丘の生活拠点として選定されている事からして不適切と言わざるをえません。市の各部門間の連携をしっかりとって各計画を推進する事を希望します。</p>	<p>方針（案）の中では、南花台中学校区に関しては、小中学校の施設を一体とする学校への検討を行うこととしており、義務教育学校も選択肢の一つとして、設置を検討することとしております。</p> <p>しかしながら、その時点における学校の状況や児童生徒数の変動、または地域の実情・意見等もふまえながら慎重に検討していく必要があると考えております。</p> <p>いずれにしましても、貴重なご意見として今後の参考といたします。</p>

問い合わせ先：河内長野市原町一丁目1番1号

河内長野市教育委員会事務局 教育推進部 教育総務課

0721-53-1111